

## 予防安全性能総合評価の変更について(案)

### 【概要】

2014年度から導入した予防安全性能評価については、評価対象装置が普及期との観点から二段階の評価による閾値を決定した。

2016年度から、AEBS(対歩行者:昼間)の評価試験が追加となったことから、予防安全性能総合評価の見直し及び考え方の整理を行った。

### 【方針】

予防安全性能に関する装置を装着している車両はすべてASV車という概念を残しつつ、二段階の閾値を超えたものはそれぞれより優れた性能を有するという評価をする。

①従来の高得点側の閾値(12点)を基に、2015年度までの評価項目で満点(46点)を獲得した車種が多いことを踏まえて、その点を次の閾値とする。

ASV+ = 12点を超える場合

ASV++ = 46点を超える場合

②2017年度以降については、当該年度の評価開始まで引き続き検討する。

